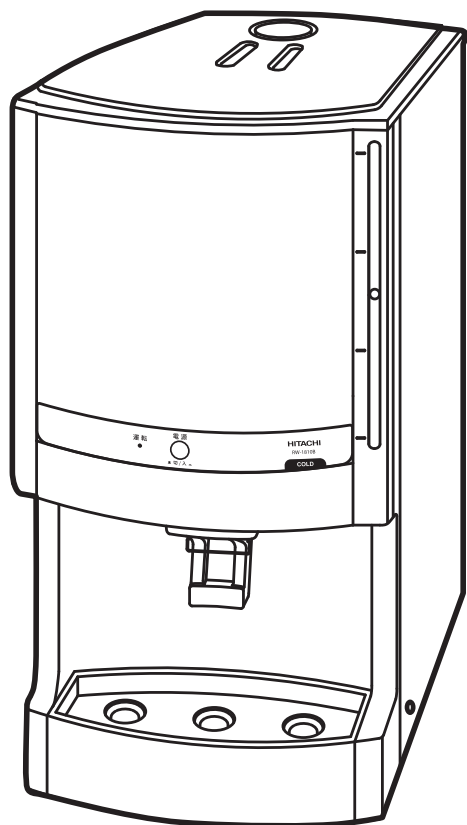


屋内用

HITACHI



(RW-1810B型)

取扱説明書

保証書別添付

日立ウォータークーラー **業務用**

冷水専用タイプ

型式

オールダブリュー ピー

RW-1211B

オールダブリュー ピー

RW-1810B

このたびは、日立ウォータークーラーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」 **→ P.2～3** をお読みいただき、正しくお使いください。



この製品には地球温暖化係数(GWP)が1430のフロン類(HFC-134a)が封入されています。地球温暖化防止のため、修理・廃棄等に当たってはフロンの回収が必要です。

【冷媒の「見える化」表示について】

この表示は、本製品に温暖化ガス(フロン類)が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。

もくじ



- 安全上のご注意…………… 2～3
 - 据え付け上の注意事項 ●使用上の注意事項
 - 修理時の注意事項
- 各部のなまえと働き…………… 4
- 据え付けについて…………… 5
 - 据え付け場所について ●放熱のための隙間について
 - アース接続について
- お使いになる前に…………… 6～7
 - 取水弁カバー、水位計カバーの外し方、取り付け方について
 - タンク内の洗浄 ●タンク内の飲料を排出するとき
 - 冷却する飲料について ●排水方法について
 - こんなことにもご注意ください
- ご使用方法…………… 8～9
 - 運転について ●停電したとき
 - 衛生的にお使いいただくために
- 長期間お使いにならないときは…………… 9
- お手入れと点検について…………… 10～11
 - お手入れの方法 ●お手入れのポイント
 - 定期的に点検しましょう
- お困りのときは…………… 12
- 保証とアフターサービス…………… 13
- 仕様…………… 14
- 別売品…………… 14
- お客様ご相談窓口…………… 16




日本国内用
Use only in Japan.

安全上のご注意









お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は、表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。







 警告	「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
 注意	「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例	
	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	実行していただく「指示」内容のものです。

■据え付け上の注意事項

 警告	
 厳守	不安定な場所に設置しないでください。 転倒・落下によるけがなどの原因になることがあります。
 水ぬれ禁止	屋外に設置しないでください。また、水の掛かる場所や湿気の多い場所には設置しないでください。 絶縁が悪くなり、漏電し感電や火災の原因となります。
 アース設置	アースを確実に取り付けてください。 故障や漏電の時、感電の原因になることがあります。 アース工事は、必ず販売店または専門業者に依頼してください。
 厳守	定格 15A 交流 100V のコンセントを単独で使ってください。 他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
 注意	
 厳守	専用の漏電遮断器を設置してください。 お買上げの販売店または専門業者に依頼してください。漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になることがあります。
 禁止	油・可燃性ガスの漏れるおそれがある場所への設置は行わないでください。 万一漏れてウォータークーラーの周辺にたまると、発火の原因になることがあります。

■使用上の注意事項

 警告	
 禁止	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。 感電・ショート・発火の原因になることがあります。
 厳守	電源プラグはコンセントに刃の根元まで確実に差し込み、ほこりが付着しないよう定期的に清掃してください。 異常発熱や火災の原因になることがあります。
 禁止	電源プラグをウォータークーラーの背面で押しつけないでください。 電源プラグを傷つけ、感電や火災の原因になることがあります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因になります。
 水ぬれ禁止	本体に水を掛けしないでください。 電気部品に水が掛かると感電や火災の原因になります。

……安全上のご注意 (つづき)

■使用上の注意事項 (つづき)

⚠警告



禁止 定格電圧（単相100V）以外で使わないでください。
定格電圧以外の電圧で使用すると、感電や火災の原因になることがあります。



禁止 ウォータークーラーの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。
転倒・落下によりけがや破損の原因になることがあります。



禁止 可燃性スプレーを近くで使わないでください。
電気接点のスパークで引火するおそれがあります。



厳守

可燃性ガスなどのガス漏れがあったときには、ウォータークーラーやコンセントには手を触れず、窓を開けて換気してください。
引火爆発し、火災や火傷の原因になることがあります。



プラグを抜く

焦げ臭いなどの異常がある場合は、すぐに運転を停止して電源プラグを抜き(またはブレーカーを“OFF”にして)、お買い上げの販売店または、お客様ご相談窓口にて点検・修理を依頼してください。



接触禁止

空気の吹き出し口や吸い込み口に指や棒などを入れないでください。
内部でファンが高速で回転しておりますので、けがの原因になります。
吹き出し口や吸い込み口に触らないでください。端面で指をけがするおそれがあります。



禁止

給水時に水を溢れさせないでください。
電気部品に水がかかり漏電し、感電・火災の原因になります。

⚠注意



禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。



厳守

タンク内の飲料は必ず毎日入れ替えてください。
飲料が腐敗し、健康を害するおそれがあります。



厳守

水道水以外の飲料水（塩素をふくまない水）は、水質にご注意ください。
雑菌により健康を害するおそれがあります。



禁止

牛乳など腐敗するおそれのある飲料は入れないでください。
健康を害するおそれがあります。



厳守

長期間ご使用にならない時は、必ず排水し電源プラグをコンセントから抜いてください。
飲料の腐敗や絶縁劣化による感電や漏電、火災の原因になります。

■修理時の注意事項

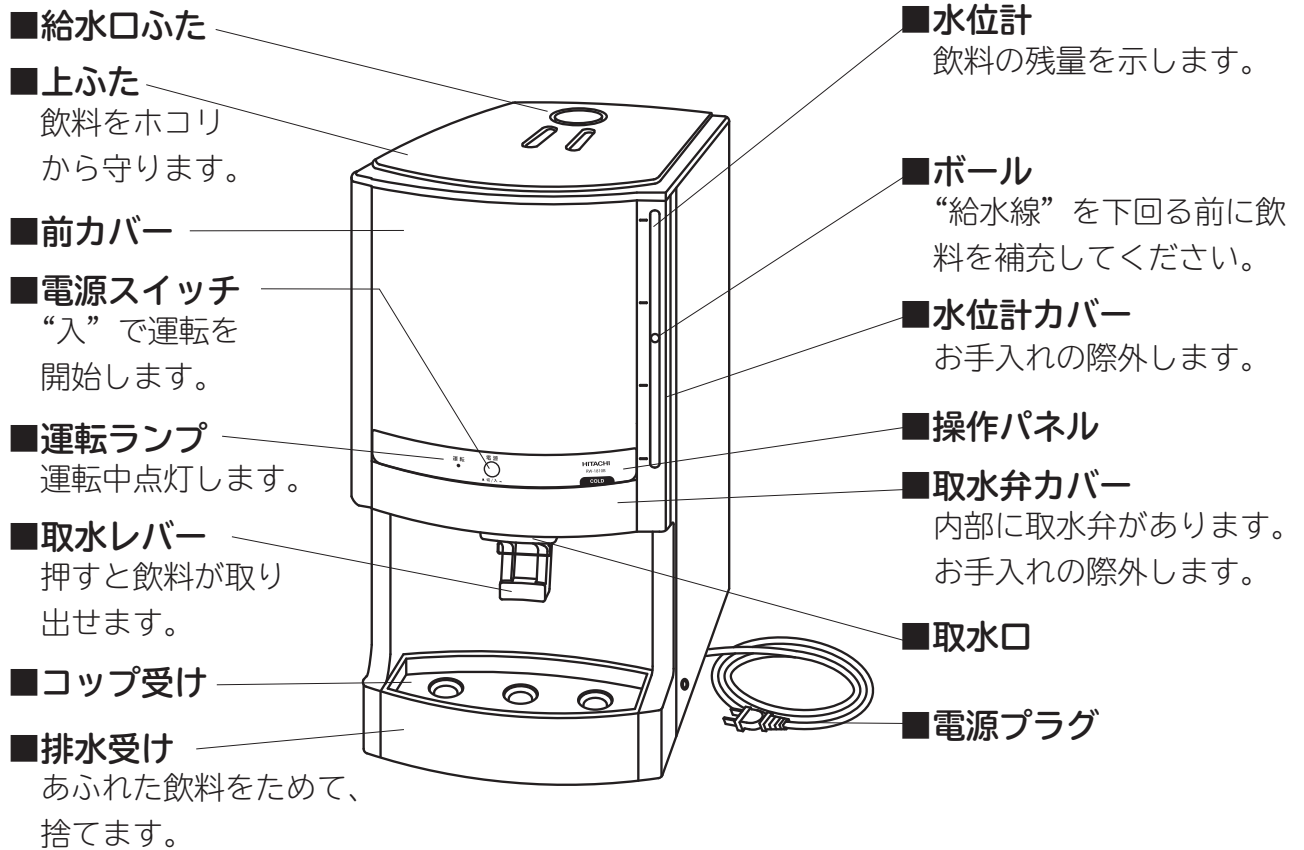
⚠警告



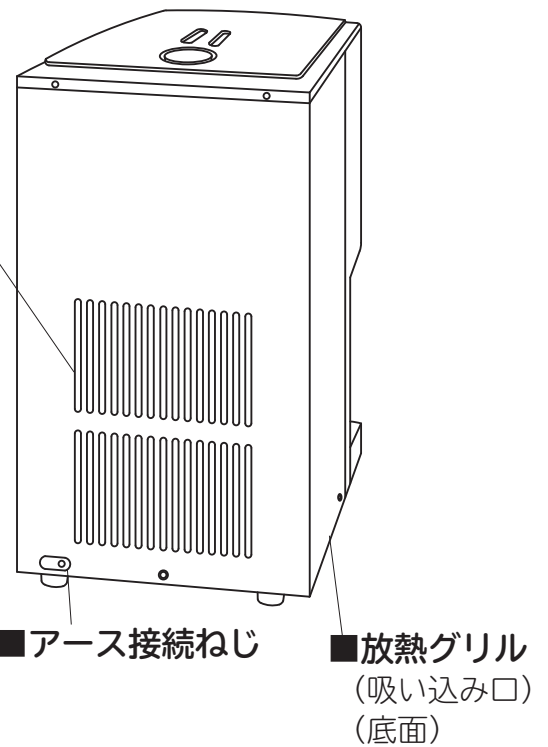
分解禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
発火したり、異常動作して、けがをすることがあります。

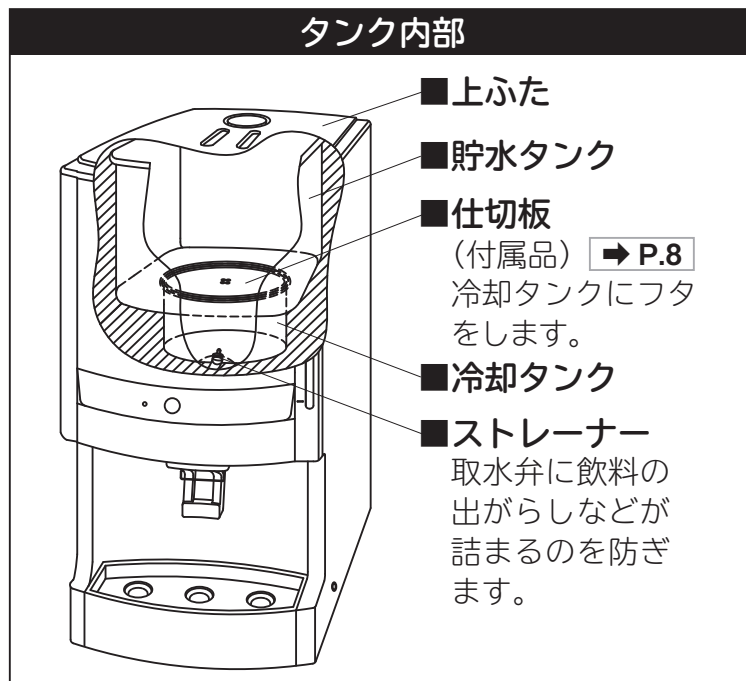
各部のなまえと働き



■ 放熱グリル
 (吹き出し口)



タンク内部



据え付けについて

据え付けにあたっては、ウォータークーラーの質量に十分耐える場所を選ぶとともに、転倒すると危険です。丈夫で、しっかりした台に置いてください。なお、アースは感電防止のため必ず設置してください。

据え付け場所について

⚠警告

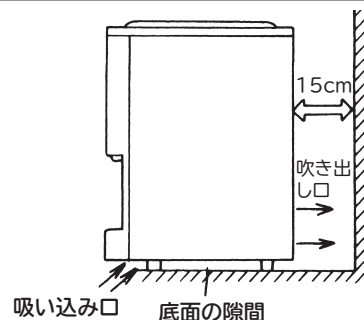
- 屋外および屋内でも雨が吹き込む場所には据え付けしないでください。
絶縁劣化による感電・漏電・発火の原因になります。また、機器のさびの原因になります。
- 水の掛る場所や湿気の多い所に据え付けしないでください。
プールサイドや浴室など水の掛る場所や湿気の多い所では、絶縁劣化による感電・漏電・発火の原因になります。また、機器のさびの原因になります。
- 不安定な場所に設置しないでください。
転倒、落下によるけがなどの原因になることがあります。また、振動や騒音、水漏れの原因になったり、機器が正常に動作しないおそれがあります。金具などで固定していただくことをおすすめします。

⚠注意

- 周囲温度が0℃以下になり凍結するおそれのある場所には据え付けしないでください。
周囲温度が0℃以下になり凍結するおそれがあるときは、必ず水抜きをしてください。取水弁などの破損により水漏れし、周囲（家財など）をぬらす原因になることがあります。
- 据付面がぬれても差し支えないところに据え付けてください。
機器からの水漏れや、結露水の発生から周囲（家財など）をぬらす原因になります。また、電気器具やコンセントなどに水が掛ると、感電や火災の原因になることがあります。
- 焼き肉、お好み焼、すしなどの飲食店や、食品などを製造する工場では直接、油煙（オイルミスト）、塩分、酢、アルコールなどを含んだ空気を吸い込まない位置に据え付けてください。
油分、塩分、酢、アルコールの成分などが付着すると、プラスチック部品に亀裂が生じたり、熱交換器などの金属部品が腐食することで冷えなくなるおそれがあります。
- 海浜地区で潮風が直接当たる場所や温泉地帯など、周囲環境が特殊な場所でご使用になる場合は、販売店と良くご相談ください。
塩害、ガス害による故障または損傷については、保証対象外となります。
- 熱気の少ない所に据え付けてください。
直射日光やコンロなどの熱影響を受けると、冷却力が弱くなります。また、周囲温度30℃以下の所に据え付けてください。なお、35℃まではご使用になれますが、冷却力が弱くなります。
- ほこりの少ない所に据え付けてください。
ほこりが発生し易い場所でご使用になりますと、凝縮器にほこりが入り冷却力が弱くなる場合があります。

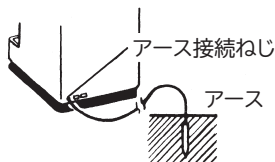
放熱のための隙間について

- ウォータークーラーの背面は図のように15cm以上の隙間をとってください。隙間をとらないと冷却力が弱くなり、電気代のむだにもなります。また側面は、共振音が出ないように壁と製品の間を少しあけてください。
- 図の「底面の隙間」には物などを入れないでください。
放熱が悪くなります。
- 放熱グリルや放熱グリルの周囲は、カバーなどで覆わないでください。
- 油煙（オイルミスト）などを直接吸い込まないように本体の背面に壁や衝立などを設置する場合は、図のように隙間をとってください。



アース接続について

- 万一、漏電した場合の感電防止と機械の保護のために必ず正しいアースをしてください。アースはD種接地工事（電気設備基準で定める接地抵抗100Ω以下のもの）が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。
- アース線は背面にあるアース接続ねじに接続してください。



⚠警告

- アース工事を必ず行ってください。
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。アース工事は必ず、販売店または専門業者に依頼してください。

お使いになる前に

取水弁カバー・水位計カバーの外し方、取り付け方について

取水弁カバーは次のようなときに外します。

●お手入れをするとき ➡ P.11

水位計カバーは次のようなときに外します。

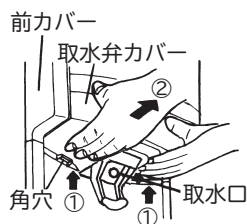
●お手入れをするとき ➡ P.11

取水弁カバーの外し方、取り付け方

外し方

- ①図のように取水弁カバーの底面を持ち上げて、底面奥の爪2個を前カバーの角穴から外します。

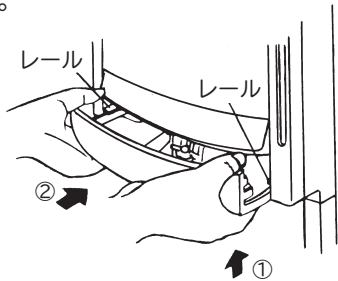
- ②そのまま手前に引き出します。



取り付け方

- ①前カバーの左右のレールの下側に取水弁カバーを押し当てながら、まっすぐ後方へ押し込みます。

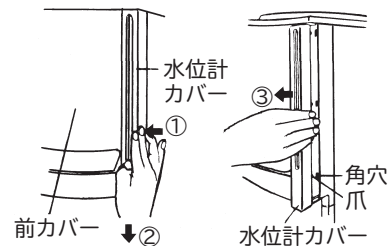
- ②取水弁カバーの爪2個を前カバーの角穴に確実に入れます。



水位計カバーの外し方、取り付け方

外し方

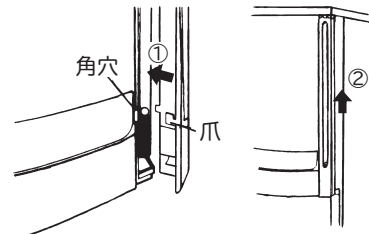
- ①図のように水位計カバーに手をかけます。
- ②水位計カバーの側面中央部を押しながら下にずらします。
- ③そのまま手前に引き出します。



取り付け方

- ①水位計カバーの爪(5箇所)を前カバーの角穴の下端に合わせて挿入します。

- ②“カチッ”と音がするまで上にスライドさせます。



タンク内の洗浄

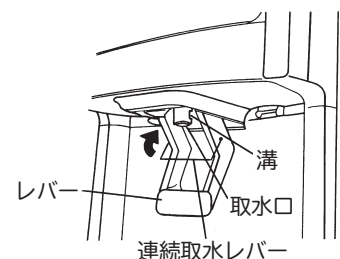
- 1 タンク内のストレーナーを取り出し、タンク内を水道水で洗浄します。 ➡ P.4

- 2 付属品の仕切板、ストレーナーを洗浄し、タンク内に正しく取り付けます。 ➡ P.4

ご注意 仕切板は常に取り付けて使用してください。

タンク内の飲料を排出するとき

- レバーを押しながら、連続取水レバーを矢印の方向に持ち上げて取水口の溝にセットします。
- レバーを再度押しすと、連続取水レバーが外れます。



冷却する飲料について

入れてよい飲料

- 飲料水
- 麦茶など
- 果汁飲料(粘度の低いジュース)
- 殺菌乳酸菌飲料

ご注意

麦茶などは茶こしなどでこしてから入れてください。また、飲料水以外の飲料をご使用の場合は悪臭、水漏れなどの原因になりますので、タンク、仕切板、ストレーナー、取水弁、排水受けを毎日お手入れしてください。(お手入れの方法は **➡ P.10 ~ 11**)

入れてはいけない飲料

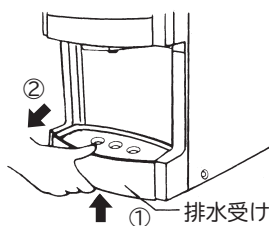
- 腐敗しやすいもの(牛乳など)
- 塩分を含むもの(そばつゆ・みそ汁など)
タンクの腐食原因になります。
- 果肉飲料など粘度の高いもの(ネクター・トマトジュースなど)
対流しにくいので冷えが遅くなります。
- 炭酸飲料(サイダー・コーラなど)
気が抜け味が落ちます。またタンクの腐食原因にもなります。
- その他固形分が混入している飲料
取水弁などのつまりの原因になります。

排水方法について

連続排水する場合

連続排水する場合は、次の手順で排水ホースを接続します。排水ホースは市販のビニールホース(内径14~15mm)、または別売品の排水ホースをご利用ください。(別売品の排水ホースは **➡ P.14**)

1 排水受けを持ち上げて手前に引き出します。



2 排水受けのゴム栓を抜いて排水ホースを確実に接続し本体にセットします。



ご注意

このウォータークーラーは、内部の結露水を排水受けに導くようになっていますので、排水受けにためてお使いの場合は、あふれないようこまめに捨ててください。

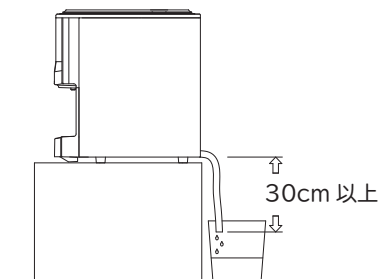
排水受けにためる場合

- ゴム栓を抜かず、そのままお使いください。
- 排水受けが満水(約1L)になったらそのつど捨ててください。

⚠注意

ホースから水が流れないと、排水受けから水があふれる原因となります。

- 排水受けよりホースが高くないようにしてください。
- 背面に垂らしたホースの長さは30cm以上にしてください。
- ホースの途中に高低差をつけたり、先端を水中に入れないようにしてください。
- ホースは折れ曲りや潰れがなく、水が流れることを確認してください。



こんなことにもご注意を

いったん運転を停止したら

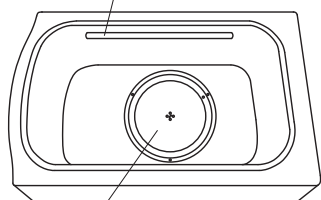
いったん停止したあと、運転を開始するまで3分以上間をおいてください。すぐに運転を開始しますと運転がうまく行われず、ガタガタ音がすることがあります。万一そのような状態になったときは、すぐに運転を停止させ、3分以上間をおいてから再び運転を開始すれば正常に運転します。

ご使用方法

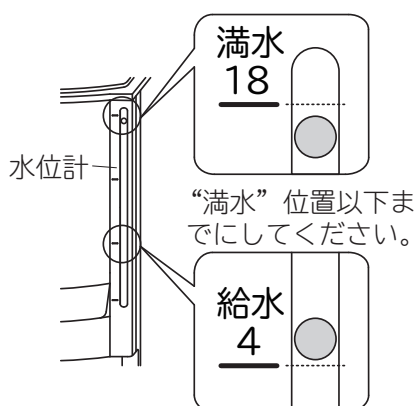
1 飲料を入れる

上ふたを開けて、仕切板がタンク内に正しく取り付けられているのを確認したのち、飲料を入れます。別売品の給水継手を利用することができます。(別売品の給水継手は **➡ P.14**)

満水表示用刻印
ここまで入れると満水です。



仕切板
正しい位置に取り付けます。



給水線を下回る前に
補給してください。

※RW-1810B型にて説明

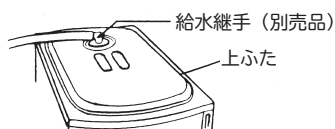
給水継手を使い給水する場合

- 内径15mmの市販のビニールホースをご利用ください。

ご注意

ホースは飲料水用(食品衛生法適合品)で、
においの少ないものをお選びください。

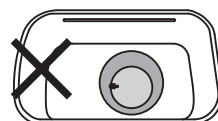
- “給水口ふた”を左に回して外し、ホースを接続した給水継手を取り付けて給水してください。
- 給水後は給水継手を外して、“給水口ふた”を“上ふた”に取り付けてください。



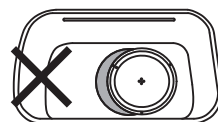
ご注意

仕切板は常に取り付けて使用してください。
タンク内の正しい位置に仕切板がセットされないと飲料がよく冷えない場合があります。

仕切板を取り付けていない



仕切板が正しい位置からずれている



⚠注意

- 飲料は、水位計の赤ボールを見ながら入れ、“満水”位置以下で止めます。タンク内にも、“満水”表示用の刻印があります。飲料は“満水”位置より上に入れしないでください。
- 水位計の赤ボールが給水線を下回る前に飲料を補充してください。

2 電源スイッチを押す

電源プラグをコンセントに挿入し、電源スイッチを押し、“入”にします。運転ランプが点灯し、運転を開始します。 **➡ P.4**

飲み頃の温度になるまでの時間

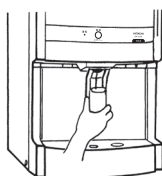
飲料の冷却

30℃→約10℃ … 約30分

- 温度は冷却タンク内の水温を示します。

3 飲料の取り出しかた

取水レバーに“コップ”を沿わせ、軽く押すと飲料を取り出せます。



ご注意

- タンク内のストレーナー、仕切板を取り外したままで、お使いにならないでください。
- 飲料を補給するときは、必ず仕切板を付けたまま補給してください。
- 別売品の給水継手を使って給水するときは、元の蛇口を徐々に開けてください。上ふたがずれて水が飛散することがあります。
- 人のいない部屋での長時間の運転は避け、夜間などご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 熱い飲料を冷やすときは、室温程度まで冷ましてから、タンク内に入れてください。飲料が熱い状態で冷水運転をすると、冷凍サイクル部品に負荷が掛かり故障の原因になることがあります。
- 周囲温度やタンク内の飲料の量により、冷却タンク内表面に円筒状の氷が出来ることがありますが故障ではありません。

運転について

運転を行うと、運転後しばらくして一時的に冷却装置が運転を中断することがあります。このときは水温が飲み頃になったときです。(故障ではありません。)

ご注意

運転を行うと、冷却タンク内表面に円筒状の氷ができることがあります。この氷によって飲料を冷却して、冷却装置を効率良く運転しています。(故障ではありません。)

停電したとき

●停電が予告されたり停電に気付いたときは、電源スイッチを“切”にしてください。

衛生的にお使いいただくために

衛生的にお使いいただくために次のことにご注意ください。

■タンク内の飲料は必ず毎日取り替えてください。

衛生的にご使用いただくため毎日飲料を取り替えてください。

水道水の場合でも、長い時間ためておきますと塩素分が飛んで腐敗しやすくなりますので、つぎたしはしないでください。特に夜間または休日などに電源を切る場合には必ず守ってください。

■こまめにお手入れしてください。

タンク内・タンク上面・上ふた・ストレーナー・仕切板・取水弁・水位計・コップ受け・排水受けなどの流水径路は、不純物が付着しがちです。いつもお手入れをして清潔にしておくよう心がけてください。(お手入れのしかたは [➡ P.10 ~ 11](#))

ご注意

タンク・仕切板は耐食性のよいステンレスを使用しておりますが、次のような場合には表面にもらいさびが発生することがあります。

- ご使用時における不純物(酸・塩分・油脂分・さび・汚れなど)がついたままになっている。
- 海浜地域の潮風の影響や塩分が多く含まれた井戸水などの使用。
- 鉄粉や赤さびが多く含まれた水の使用。

そのまま放置するとステンレスがさびることがありますので、こまめにお手入れしてください。(お手入れのしかたは [➡ P.10](#))

長期間お使いにならないときは

長期間お使いにならないときは、電源スイッチを“切”にし、電源プラグをコンセントから抜き、次の処置をして保管してください。

- 1 タンク内の飲料をすべて取り出し、タンク内・タンク上面・上ふた・ストレーナー・仕切板・取水弁・水位計・コップ受け・排水受けをよく洗い水分を拭き取り、タンク内をよく乾燥させてください。
- 2 直射日光の当たらない、風通しの良い所に保管してください。ほこりよけの簡単なカバーをかぶせておくと安心です。お子さまの手の届かない所に保管してください。

お手入れと点検について

お手入れの方法

ウォータークーラーは飲料を扱う製品ですから、いつも清潔にしておいてください。また長持ちさせるためにも定期的にお手入れしてください。

お手入れするときは、必ず電源スイッチを“切”にして電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

本体表面のお手入れ（週に1回程度）

- 柔らかい布で拭いてください。
汚れのひどいときは柔らかい布に台所用合成洗剤（中性）を入れたぬるま湯を含ませて拭いたあと、洗剤分が残らないようきれいな水を含ませた柔らかい布で拭き取ってください。
- 直接水を掛けしないでください。
水が掛かると内部に水が入り、感電や火災の原因となります。
- 塗装面やプラスチック部品を痛めるため、次のようなものは使わないでください。
シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉せっけん・みがき粉・アルカリ性洗剤・熱湯・たわし・酸など。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 電源スイッチなど電気部品の周囲は固く絞った布で拭いてください。

タンク内側のお手入れ（初めてお使いになるときおよび毎日）

- 常に新鮮な飲料をご使用いただくために、台所用合成洗剤（中性）とナイロンタワシなどで清掃し、残った水をきれいなふきんで拭き取ってください。

警告

- ぬれた手で電源プラグなど電気部品に触れたりしないでください。
感電の原因になります。
- 水を掛けしないでください。
電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。
- 電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよく拭き取ってください。
ほこりでショートしやすくなり、火災の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んでいたりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。

お手入れのポイント

タンク・仕切板・ストレーナー（初めてお使いになるときおよび毎日）

- タンク内・仕切板は衛生的にご使用いただくために毎日台所用合成洗剤（中性）とナイロンタワシなどで清掃してください。耐食性のよいステンレスを使用していますが、表面にもらいさびが発生することがあります。そのまま放置するとステンレスがさびることがありますので、こまめにお手入れしてください。
- タンク上面をきれいな水を含ませた柔らかい布でふき取ってください。
- 不純物やもらいさびが発生した場合にはクレンザーなどで洗浄してください。
- ストレーナーが詰まると水の出が悪くなります。毎日取りはずして水洗いしてください。

コップ受け・排水受け（週に1回程度）

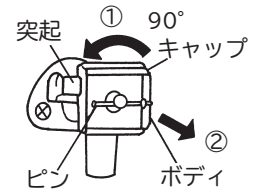
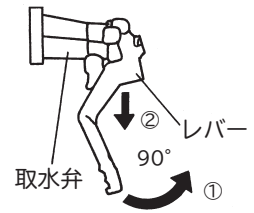
- コップ受け、排水受けなど飲料水取り出し周囲は、常に清潔にお使いいただくために週に1回程度本体から外して水洗いしてください。
- 汚れがひどいときは、台所用合成洗剤（中性）で洗浄してください。
洗浄したあとは、洗剤が残らないよう水洗いをしてください。

……お手入れと点検について (つづき)

取水弁 (週に1回程度)

取水弁に不純物が付着すると水切りが悪くなります。また清潔にお使いいただくためにも週に1回程度、次の要領で水洗いしてください。

- 1 タンク内の飲料を完全に取り出します。
- 2 取水弁カバーを外します。(外し方は [➡ P.6](#))
- 3 レバーを約90°手前に持ち上げ、そのまま下へずらして、レバーをピンから外します。
- 4 キャップを反時計方向に90°回して、手前に引き抜きます。



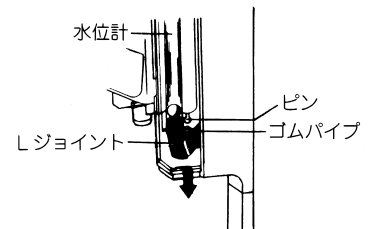
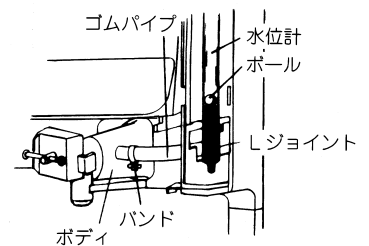
ご注意

- キャップを外すときは、タンク内の飲料を完全に取り出してください。残っている飲料が流れて、床をぬらすおそれがあります。

水位計 (月に1回程度)

月に1回程度、次の要領で内部を水洗いしてください。水洗いには、別売品のブラシを利用すると便利です。(別売品のブラシは [➡ P.14](#))

- 1 タンク内の飲料を完全に取り出してください。
- 2 水位計カバーを外します。(外し方は [➡ P.6](#))
- 3 取水弁カバーを外します。(外し方は [➡ P.6](#))
- 4 取水弁のボディからバンドを緩めてゴムパイプを引き抜きます。
- 5 前カバーのピンから、Lジョイントを引き、水位計、Lジョイント、ゴムパイプを外します。このとき水位計の中にあるボールを無くさないようご注意ください。



ご注意

- ゴムパイプを外すときは、タンク内の飲料を完全に取り出してください。残っている飲料が流れて、床をぬらすおそれがあります。

定期的な点検しましょう

安心してご使用いただくために、半年～1年に1度定期的に次のような点検を行ってください。そのとき、もしご不審な点がありましたら、すぐお買い上げの販売店にご連絡ください。(年に1、2回)

- 電源プラグは、コンセントにしっかり入っていますか？
- 電源プラグに異常な発熱などありませんか？
- 電源コードに亀裂や、すり傷がありませんか？
- アース線は切れたり接続がゆるんでいませんか？

また、次の項目は月に1回を目安に点検してください。

- 飲料水は冷えていますか？
- 本体背面の放熱グリル周囲にほこりなどがたまっていますか？
- 本体からの水漏れはありませんか？

お困りのときは

修理を依頼される前に、次の点をもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、お買い上げの販売店が弊社お客様ご相談窓口にご連絡ください。 ➡ P.16

こんなときは	ここを確認してください	直しかた
運転しない	電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	停電やブレーカー、ヒューズが切れていませんか。	ブレーカーが“OFF”になっている場合は、“ON”にしてください。ヒューズが切れている場合は、新しいヒューズと交換してください。
	電源スイッチが“切”になっていませんか。	電源スイッチを入れてください。
よく冷えない	周囲温度が35℃以上になっていませんか。	周囲温度が35℃を超えないようにしてください。
	直射日光が当たったり、近くにコンロやレンジなどありませんか。	直接熱が当たらないようにしてください。
	周囲の隙間は適切ですか。	➡ P.5 を厳守してください。
	放熱グリルをカバーなどで塞いでいませんか。	放熱グリルを物で塞がないように配置してください。
	放熱グリルにほこりや紙くずがたまっていますか。	ほこりや紙くずを取り除いてください。
	飲料を補給した直後ではありませんか。	少々お待ち下さい。飲み頃の温度になるまでの時間が約30分かかります。 ➡ P.8
	タンク内の仕切板が正しく取り付けられていますか。	仕切板を常に取り付けてください。 ➡ P.8
	電源スイッチが“切”になっていませんか。	電源スイッチを入れてください。
音がうるさい	不安定な所に設置されていませんか。	安定した所に設置してください。
	ウォータークーラーに何か物が触れていませんか。	外観に物が触れていないか確認してください。
水が臭う	水道水に含まれる塩素の量により、カルキ臭が残ることがあります。	
	使い始めは、樹脂などの臭いがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。	
その他	飲料があふれる	満水目盛以上飲料を入れていませんか。 満水目盛以下に、飲料を減らしてください。
	水が流れるような音がする	異常ではありません。これは冷凍サイクルの中の冷却液が流れる音（シュー）です。
	氷が出来る	異常ではありません。冷水運転をしているとき、冷却タンクの内表面温度は0℃以下になりますので円筒状の氷が生成することがあります。 ➡ P.9
	飲料の出が悪い 水切りが悪い	ストレーナーや取水弁に不純物が付着していませんか。 ストレーナーや取水弁の清掃をしてください。 ➡ P.10 ~ 11

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。なお、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、そのほか天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障および損傷。
 - (ニ) 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
- なお、飲料の補償等、商品修理以外の責はご容赦ください。

保証期間：お買い上げの日から1年間です。（ただし、冷凍サイクル部品は3年間です。）

なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

ウォータークーラーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」（エコーセンター）**➡ P.16** にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

➡ P.12 にしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず運転を停止して電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申し付けいただくときは、下のことをお知らせください。

品名	日立ウォータークーラー
型式	RW-1211B・RW-1810B (正面操作パネル銘板に記載されている型式をお知らせください)
お買い上げ日	
故障の状況	できるだけ詳しく
ご住所	付近の目印等もお知らせください。
お名前	
電話番号	() -
訪問希望日	

*型式は保証書にも記載されています。

■保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

仕様

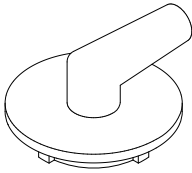


この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

型 式	RW-1211B	RW-1810B
タンク容量 (L)	12	18
外形寸法 (mm)	幅300×奥行505×高さ540	幅300×奥行505×高さ600
定格電圧 (V)	100	
定格周波数 (Hz)	50/60共用	
定格消費電力 (W)	176/190	
性能 (L/h)	7/8	
製品質量 (kg)	19	19.5

- 定格消費電力および性能は周囲温度30℃、入口水温度30℃、出口水温度10℃のときの値です。
- /で示す数値は左が50Hz、右が60Hzの値です。
- 本仕様は日本国内の使用においてのみ適用するものです。

別売品

■ 次の部品を購入する場合は、必ず販売店にお使いのウォータークーラーの型式をご指定のうえ、専用の部品をお買い求めになってください。

こんなときに	商品名	商品型式	希望小売価格
上ふたを取り付けた状態で直接給水するとき	給水継手	RW-125B 024 	300円 (税別)
水位計の清掃をするとき	ブラシ	RW-124B 013 	300円 (税別)
連続排水するとき	排水ホース	RW-1211B 007  (ホース長さ 1,500mm)	1,600円 (税別)

- 上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

A series of horizontal dotted lines for handwriting practice, spanning the width of the page.

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理に関するご相談窓口

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

(受付時間)9:00~18:00(月~土)

9:00~17:00(日・祝日)

携帯電話、PHSから0570-0031-68(有料)

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口

TEL 0120-3121-19

FAX 0120-3121-34

(受付時間)9:00~17:30(月~土) 日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

愛情点検



長年ご使用のウォータークーラーの点検を！

こんな症状
はありませんか？

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コードに深い傷や変形がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- ピリピリと電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを外して、必ず販売店に、点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います

この製品は、フロン排出抑制法の第一種特定製品です。地球温暖化防止のため、適正にフロン回収する必要があります。この製品を廃棄・整備する場合は、専門業者が行いますので、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- ① フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- ② この製品を廃棄・整備する場合は、フロン類の回収が必要です。
- ③ この製品で使用しているフロンの種類、地球温暖化係数（GWP）および封入量は製品本体の銘板に表示しています。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入してください。サービスを依頼される時に便利です。

お買い上げ日	年	月	日	型式	
購入店名	電話		()	

販売元  日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12

製造元 日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸一丁目16番1号ニューピア竹芝サウスタワー